



私たちが海外旅行を楽しむに理由、それは先月紹介したミュージカルと今月紹介するモータースポーツです。

この季節、F-1はもちろんインディヤル・マンなどメジャーレースが続々です。それではインターネットで観戦してみましよう。

LIFE WITH INTERNET

インディ500観戦の達人 愚留目 都亜

【自動車レースの季節だっ!】

先月のミュージカルとともに、毎年5月末に楽しみにしているイベントに「インディ500」があります。インディ500はアメリカのインディアナポリスで行われるインディカーによるレースのことです。日本ではヨーロッパが中心のFIAのF-1が有名ですが、当然のことながらアメリカではフォーミュラレースといえばインディカーです。

インディカーのレースは年間17戦程度行われますが、その中でも5月にインディアナポリスで行われる500マイルレースは「インディ500」の愛称で呼ばれる特別なレースです。レースの走行距離は、文字どおり500マイル(約800km)。問題はコースで、1周2.5マイル(約4km)の楕円形のコースを単純に200周するだけのものです。

私の知人にレース好きが何人かいますが、ほぼ全員が「ただぐるぐる回っているだけでつまらない」といいます。しかし、私にとっては数ある自動車レースの中で一番好きなレースです。毎年決まった「Ladies and Gentlemen, start your engine!」の掛け声とともに33台が一斉にエンジンをかけるところ、スタート時やイエローフラッグ後のリスタート時のグリーンフラッグの振り方、時速370kmのスピード、チェッカーフラッグの振り方、優勝者の飲む牛乳など

など、すべてが愛すべきインディ500です。

5月6日に始まった第79回を迎えた今年のインディ500は5月28日に決勝が行われ、翌29日の優勝祝賀ディナーで幕を閉じました。毎年上位に食い込んでいたPenskeチームが予選落ちという波乱で始まったレースは、190週目まではホンダエンジンが優勝か?という展開でしたが、残念ながらもありませんでした。優勝者はジル・ビルヌーブの息子のジャック・ビルヌーブです。

前置きが長くなりましたが、今月は自動車レースの話題です。このひと月ほどのあいだで私が見たレースに関するページを紹介しましょう。取り上げるのは、全日本GT選手権、FIAフォーミュラワンワールドチャンピオンシップと、そしてもちろんCart PPG インディカー・ワールドシリーズです。さらに、今回取り上げられなかった4つのWWWサービスについて、そのURL

と簡単な説明を載せました。

インターネット上の情報としては、自動車レースは情報が豊富なほうといえます。公式なものも個人が趣味でやっているものもありますが、いずれも力が入っていますので、yahoo.comなどから探索してみるとよいでしょう。

テレビでのレース観戦を考えたときには、私自身では「資料性」を第一と考えます。その点では、3番目に紹介する「MILD SEVEN Formula 1 Team」のページは評価に値すると思います。今後も長く続けてほしいサーバーの1つです。

さて、問題が1つあります。私はインディ500が一番好きな自動車レースですが、妻の好きなのはル・マン24時間レースです。最近いろいろ探しているのですが、これといったサーバーが見つかりません。誰かいいサーバー知りませんか?

http://Web2.valvoline.com/JPEG/33_Start.JPGより転載



NISMOの全日本GT選手権中継!

http://www1.sony.co.jp/NISSAN/NISMO/GT-ChampionShip/

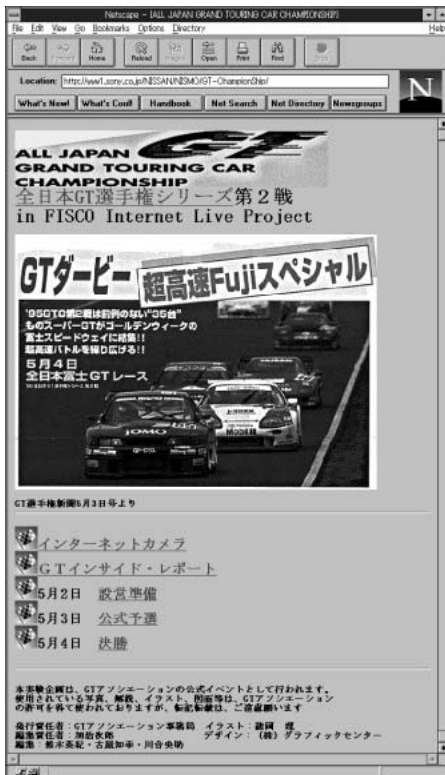
最初に紹介するのは、ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル株式会社(NISMO)が行った「全日本GT選手権」の中継実験です。5月4日にGT選手権の第

2戦が富士スピードウェイで行われましたが、その際にレース中の画像をインターネットを利用して流したわけです。

決勝のスタートの日、ディスプレイの前

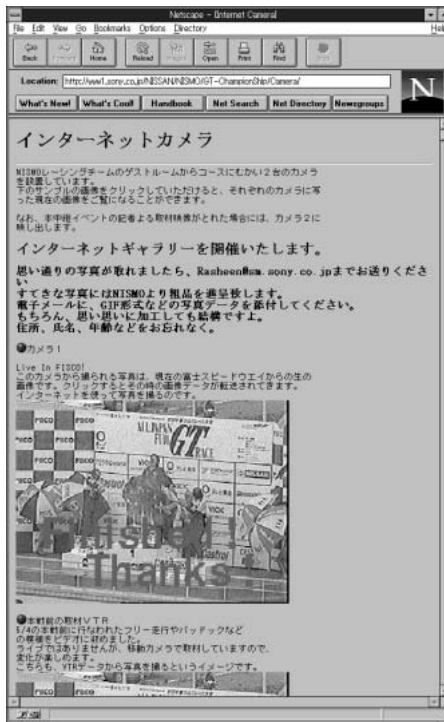
に夫婦で陣取り、ビール片手に楽しませていただきました。ただ、30秒に1回画像ファイルを更新するという方式だったので、タイミングが悪いときは決定的瞬間が見られないこともありました。できれば、画像ファイルの更新とは別に、レース中の順位の最新情報も見られるとよかったですよね。是非また実現してほしい実験です。

①のページで「5月4日 決勝」を選択すると、このページが出てくる。当日は時々刻々とこのページに情報が追加されていった。クリック可能な項目には、詳細な説明や画像、音なども入っている。なお、ここに示したのは終了後の状態だ。

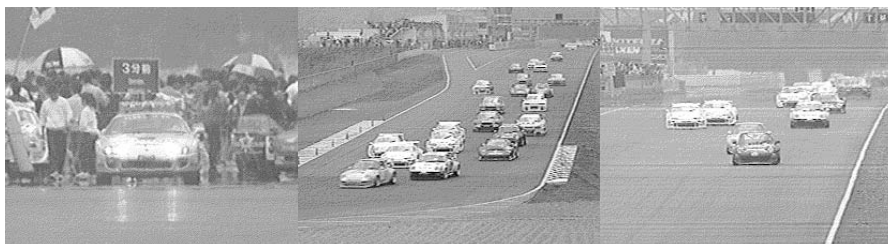


① このページは、NISMOのトップページから「GT選手権第2戦中継実験!」を選択して出てきたページ。

なおNISMOのトップページからは、「Club Le Mans」というファンクラブの情報ページ、オートキャンプや4WD オフロードコースの情報ページ、GT選手権の規則、日程、結果のページに行ける。

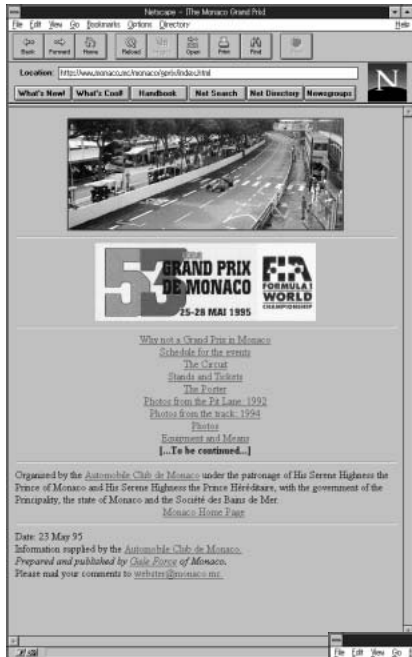


②のページで「インターネットカメラ」を選択するとこのページとなる。現在では、ここにあるように終了のメッセージが出るだけだが、当日はここをクリックすると、その時点での最新の画像が送られてきた。下に示した3枚の画像は、このインターネットカメラで表示されたもの。テレビカメラからの画像とこのことで、画質は満足いくものだった。



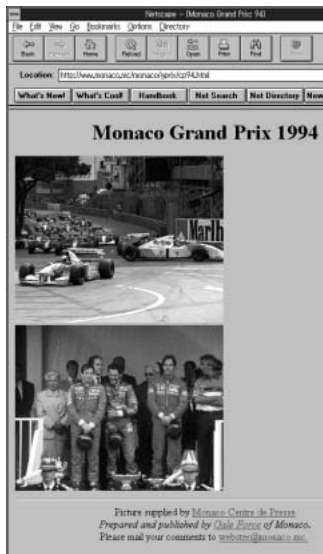
本場モナコのF-1 情報

http://www.monaco.mc/monaco/gprix/



① これは決勝6日前の時点でのトップページ。項目が9個あるのがわかる。

③ 92年と94年のレースについては、数は少ないが写真も見られる。



⑤ レース終了2日後のトップページ。最終的に項目数が19にまで増加している。



②①のページで「The Circuit」を選択するとこのページとなる。コース図とともにコースの詳細な説明が見られる。

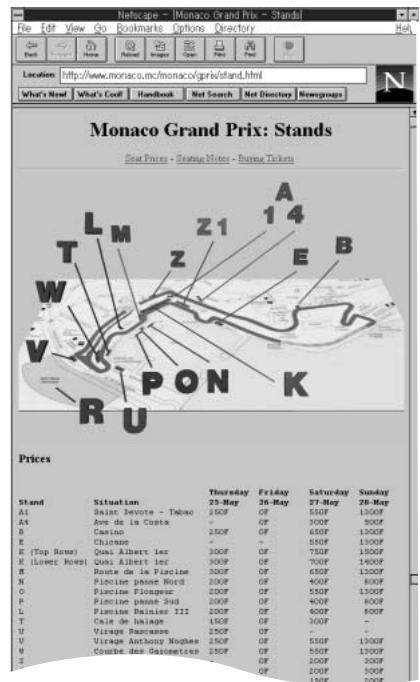
ここで紹介するのは、Gale Force社というモナコのコンピュータ会社が提供しているWWWページです。F-1のモナコグランプリの主催者でもある「Automobile Club de Monaco」のバックアップを受け、モナコグランプリの情報を出しています。私がこのページを見始めたのは5月の中旬でした。最初のうちは項目も少なかったのですが、レースが近づくにつれて内容が充実してきました。

このWWWページの特筆すべき点は、情報提供のスピードです。モナコグランプリでは、予選が木曜日と土曜日に行われるのですが、いずれも予選終了の3時間~4時

間後には結果がWWWページに追加されていました。

「The Epilogue」を見ると、FIAとも協議を行い、今後も情報提供を続けるとのことなので、楽しいWWWページといえます。

④①のページで「Stands and Tickets」を選択したときのページ。観覧席の位置や価格、チケットの買い方を見られる。



⑥⑤のページで「The Results」を選択したときに表示されるページ。モナコでもSchumacher強し！





①これが「MILD SEVEN Formula 1 Team」のトップページ。ここに示したのは、モナコグランプリの開催6日前のもの。モナコのコースに関する詳細な情報が提供されている。「過去の戦績」が圧巻で、そのコースのこれまでの全記録が表示される。また「95 RACE RESULTS」ではそれぞれのレースの記録が、フリー走行の順位、コンストラクターズポイントまでも含めて表示される。「F1 DATA BOOK」では、50年代のドライバーズチャンピオンやコンストラクターズチャンピオンまで見られる。

④②で「直近GPレースシーン」を選択すると、決勝や予選の画像を見ることができる。もちろん、過去のレースシーンにもアクセス可能だし、それぞれの画像を見ることが可能。



②①のトップページで「Benetton Formula 1」のボタンを押すと、ベネトンチームのページとなる。

日本にもあった！ F-1 サーバー

http://www.jtnet.ad.jp/WWW/MILDSEVEN/F1/Welcomej.html

F-1に関する私の情報源となっているWWWサーバーをもう1つ紹介します。それは日本たばこ産業株式会社が提供する「MILD SEVEN Formula 1 Team」WWWサーバーです。

このサーバーの情報は「すごい」の一言につきま。1984年第10戦イギリスグランプリの優勝者、タイム、平均時速は？3位は誰？ポールポジションは誰の何分何秒？という問題に対してすぐに答えられるのは、このサーバーのおかげです。

情報の格納の仕方もなかなか優れていて、直近のレースに関する情報がまず表示され、必要なら、さらにほかのレースの情報を表示させることができるようになっています。



③②のページで「チーム、ドライバーコメント」を選択したときのページ。各人がその日の結果を受けて発言したコメントが見られる。

⑤①のページから「UKYO KATAYAMA and TYRRELL」ボタンを押すと、マイルドセブンがスポンサーしているもう1つのチーム、ティレルの片山右京に関する情報ページになる。右京との対談録である「Ukyo's Eye」がお勧め。



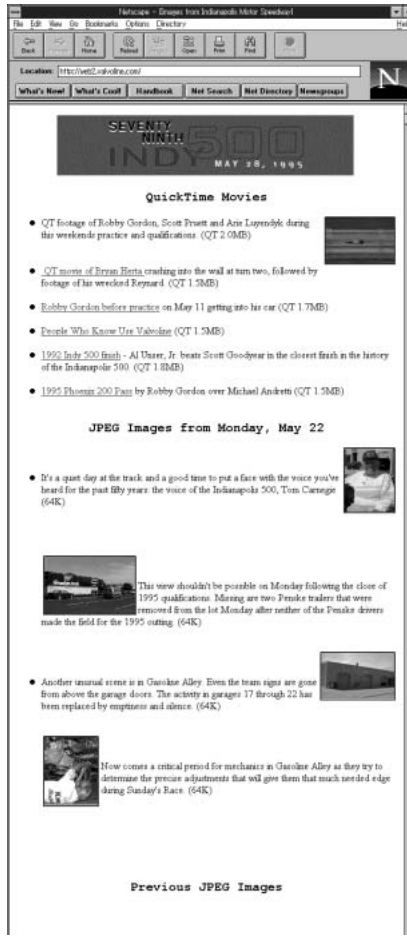
インディ500に関するWWWページとして最初に紹介するのは、自動車関連品会社であるValvoline社が提供する「You're In The Pit」です。Valvoline社はWalker Racing Teamにスポンサーしているため、そのチームの情報が豊富に入っていますが、予選結果、決勝のグリッド表などもちゃんと入っているので、参照するには有効なページです。現在では、決勝の結果や、その解説も入っています。



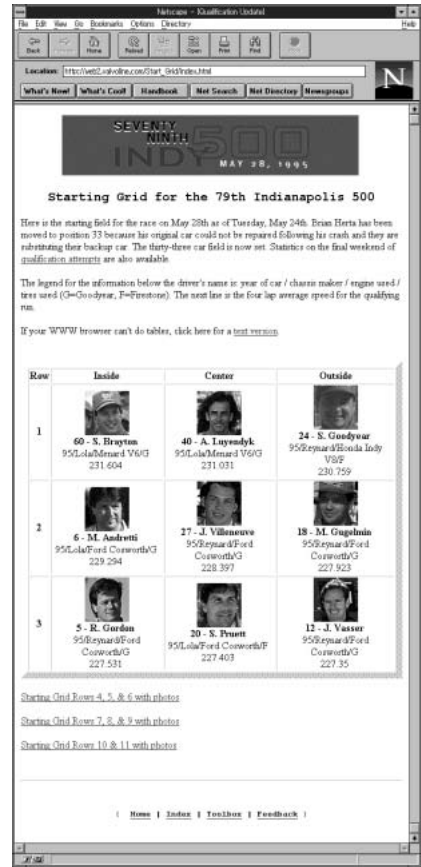
① これがValvolineのホームページ。ここで紹介するページのほかに、今年のレース結果のページ、レースの歴史のページ、Walker Racing Teamに関するページがある。

インディ500の情報はココが一番!

<http://www.valvoline.com/>



②①のページで「Images and Movies」を選択するとこのページとなる。ここに示したのは決勝前の時点のもので、決勝終了後すぐに今年のレースの画像が9個ほど入れられた。機会があったら、ここにあるクイックタイムの動画を一度見てほしい。



③①のページで「Starting Grid」を選択するとこのページとなる。決勝へ進出した33人のドライバー、33台のマシンの一覧。

まだまだある!! 自動車レース関連のサーバー

<http://espnnet.sportszone.com/car/>
スポーツ専門の放送会社ESPNがサポートするWWWページ。とにかく情報の掲載が早い。F-1もインディ500もレース後すぐに記事が載った。また、私がマンセルのF-1契約解消のを見たのも、このページが最初だった。もちろん自動車レースだけでなくスポーツ全般に関しても提供されている。

<http://www.bit-wise.com/1stturn/>
アメリカのカーレースの情報が詳しい。また、今回のインディ500レースでは、ライブで5分ごとに順位表を出していた。実際私はTBSテレビの生放送を見ながら、このページを見ていた。

<http://www.icr.com/indy/default.htm>
ICR Interactiveが提供しているIndy Carに関するWWWページ。この会社が発行しているIncy Car Racing Magazineに関する情報もある。

<http://www.eng.hawaii.edu/Contribs/carina/ra.home.page.html>

F-1、Indy、NASCARに関する情報の宝庫。F-1のレギュレーションには表彰台でのトロフィーやジャンパンの置き方まで決められていることを知ったのは、このサーバーにあったF-1のレギュレーションを読んだからである。



観戦チケットも手に入れよう!

<http://www.inetdirect.net/tnt/>

① これは「Racing Pages」のホームページ。このページの中の「Tickets & Travel」を選択すると、Tickets & Travel Inc.のページとなる。

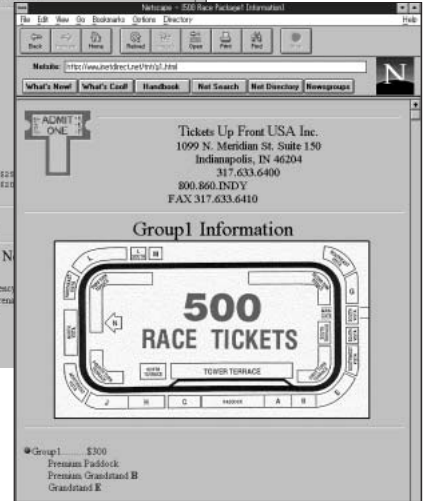
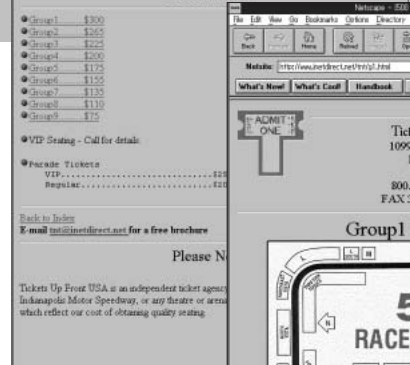
「インディ500のチケットはいくらぐらいかな?」の疑問に答えてくれるのが、ここで紹介するNet DirectのRacing Pagesの中のTickets & Travel Inc.のページです。チケットだけの販売とは別に、ホテル込みのパッケージもあります。サーキットへの送迎や各種イベントへの参加なども含まれていますので便利です。残念なことといえば、オンラインで申し込みできないことでしょう。申し込みはファックスか電話です。



② Tickets & Travel Inc.のトップページ。「500」 Packages」のボタンを押すと③のページへ、「500」 Tickets」のボタンを押すと④のページへ行く。

③ 泊4日、一室2名利用で1人あたり10万円ちょっと。結構いい値段です。

④ この会社では、9つのカテゴリーに分けて販売している。ここで「Group1」を選択したときのページが右に示したページ。レースはこのコースを左回りに200周することで行われる。



オンラインショッピングその後。。。

第4号のオンラインショッピングの報告です。1月の終わりに「Book Stacks Unlimited, Inc.」に本1冊とカセットテープ2本を申し込みましたが、カードの引き落としはされたのに、物が全然送られてきませんでした。と思っていたのは私と担当編集者でして、実は編集長のもとにずいぶん前に送られてきていたとのこと。毎日大量に送られてくる見本誌類に紛れてしまって、気付かなかったというわけです。編集長曰く「2~3か月前にはあったぞ」とのこと。まあ、めでたし、めでたし、としておきましょう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp